

国語チャレンジテスト〈2〉 問題用紙 (解答時間の目安…20分)

1

一 次の1から3までの文の——部の漢字の読みを、ひらがなでいねいに書きましよう。

- 1 家と駅とを往復する。
- 2 古代生物の子孫。
- 3 余分な手間を省く。

二 次の1から3までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましよう。

- 1 いしやか弁護士になりたい。
- 2 友達の意見にさんせいする。
- 3 合同練習の機会をもうける。

2

次の一はことわざの意味として、二は意味が似ている言葉として最も適切なものを、1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

一 「石橋をたたいて渡る」

- 1 用心に用心を重ねて取り組むこと。
- 2 失敗をおそれずやってみること。
- 3 相手の歩調に合わせること。
- 4 いち早く動いて好結果を得ること。

二 「花を持たせる」

- 1 顔を出す
- 2 顔を合わせる
- 3 顔をつなぐ
- 4 顔を立てる

3

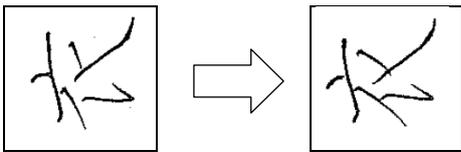
次の()に入る言葉として適切でないものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

() 作業が進まない。

- 1 少しも
- 2 ようやく
- 3 案の定
- 4 思いのほか

4

次は、花田さんが一回めに書いた文字(上)と二回めに書いた文字(下)です。二回めを書くときに、花田さんが注意したところとして最も適切なものを、あとの1から3までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。



- 1 横画の長さや方向
- 2 左はらいの長さや方向
- 3 右はらいの長さや方向

5 高島さんは、五年生のときから入っている放送委員会のことを文章に書きました。読み直したあと、三つめの文を二つの文に分けて書き直すことにしました。あとの（ ）に入る言葉として適切なものをひらがな三字で書きましよう。

【文章の一部】

放送委員会の役員を決める話し合いをした。ぼくは、委員長を任されることになった。新しく委員になった五年生は、放送機器の使い方が分からなくて不安そうにしていたので、ぼくは、これまでの経験を生かして、いろいろなことを教えてあげたいと思った。

新しく委員になった五年生は、放送機器の使い方が分からなくて不安そうにしていた。（ ）ぼくは、これまでの経験を生かして、いろいろなことを教えてあげたいと思った。

6 小島さんは、科学クラブで「べっこうあめ作り」をして、その感想を学級の友達に伝えました。そのとき、「作り方を分かりやすく教えてほしい。」と言われたので、Aの感想をもとに、Bの説明書を書きました。Bの「3 作り方」の「ア」と「イ」に入る文をAの中の言葉を使って書きましよう。

A

べっこうあめを作った時の感想

科学クラブのみんなで、べっこうあめを作りました。とてもおもしろかったです。まず、砂糖と水をなべに入れて、わりばしでかきまぜながら、火にかけました。きつね色になった時に、火を消しました。こげなくてよかったです。次に、アルミケースにたらしめました。とてもおいしかったです。あとは、つまようじを付けてでき上がりです。

べっこうあめは熱かったので、やけどしそうです。…



B

べっこうあめの作り方

1 材料 砂糖 100g、水 80ml

2 準備するもの なべ、ガスコンロ、わりばし、アルミケース、つまようじ

3 作り方

① 砂糖と水をなべに入れ、わりばしでかきまぜながら、火にかける。

②

③

④ つまようじを付ける。

※注意…べっこうあめは熱くなるので、やけどをしないように気を付けること。

7 小野さんの学校では、五年生になると登山に行きます。六年生の小野さんは、去年の登山の経験を五年生に話すために、次のアからエのカードを用意しました。小野さんは、実際にはどのように組み立てて話したのでしょうか。実際に話した内容に合わせて、四枚のカードを順番に並べかえ、その記号を書きましょう。

【用意したカード】

ア 質問を受ける

イ 登山前の体力づくり

ウ 登山の楽しさ

エ 服そうや準備物

【小野さんが実際に話した内容】



さわやかな五月、山に登ると風がとても気持ちよかったです。歩いていると、美しい花やめずらしいチョウに出会い、みんな喜んでいました。山の頂上まで登り着いたあとに食べたお弁当は、とてもおいしかったです。

わたしたちは、登山に向けて、一か月前から毎日運動場を走りました。みなさんも、取り組んでみてはどうでしょうか。

登山のときは、虫にさされたり、木の枝でけがをしたりしないように、長そでの服と長ズボンで参加するとよいと思います。ぼうしやタオルも忘れなidekudasaい。

みなさん、分からないことがあれば、何でも聞いてください。

8 青木さんたち図書委員会では、読書活動をより活発にするためのアイデアについて、一人一人が提案カードにまとめることにしました。次は、青木さんの下書きと下書きを書き直したものです。【下書きを書き直したもの】の（ ）に当てはまる文を、あとの〈条件〉に合わせて書きましょう。

【下書き】

わたしは、一年生から六年生まで一人一人に「読書通帳」を配って、毎日読んだ本のページ数を記録してもらい、通帳の数字がどんどん増えていく楽しさを味わってもらう「読書貯金」という方法をすすめることで、学校全体の読書量が増やせると思います。



【下書きを書き直したもの】

（ ）

これは、一年生から六年生まで一人一人に「読書通帳」を配って、毎日読んだ本のページ数を記録してもらおうというものです。みんなに、通帳の数字がどんどん増えていく楽しさを味わってもらうことで、学校全体の読書量が増やせると思います。

〈条件〉

- 「提案」という言葉を使って書くこと。
- 十五字以上、二十五字以内 にまとめて書くこと。

9 次は、山野さんが興味をもった資料です。これを読んで、あとの問いに答えましょ

【資料】

脳を調べてみると、[※]神経細胞があみの目のようにつながり、[※]ネットワークを作っていることが分かります。このネットワークが複雑であればあるほど、人は豊かに考えることができるといえるでしょう。それはちょうど一つのパソコンからインターネットを通して、世界中の情報を得ることができる仕組みとよく似ています。

会話の場面で、脳の中がどうなっているかについて調べたところ、「話上手」と言われる人は、言葉に関係する部分が活発に働いていました。そのような人は、どうやら思い付いたことをそのまま話すのではなく、内容を考え言葉を選びながら話す習慣を身に付けているようです。

※ 神経細胞：情報を伝える働きをもつ細胞。 ※ ネットワーク：次々と情報を伝える仕組み。

一 線部「このネットワーク」とは、どのようなネットワークですか。最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょ。

- 1 神経細胞のネットワーク
- 2 パソコンのネットワーク
- 3 インターネットのネットワーク
- 4 世界中のネットワーク

二 山野さんは、【資料】を読んで考えたことを、ノートに次のようにまとめました。
()に入る言葉として最も適切なものを、【資料】の中から十五字で書きぬきましょ。

同じクラスの松友さんは、会話のとき、いつも()ことができていると思う。わたしも、なるべく早くそれができるようになりたい。

(これで問題は終わりです。)